

福岡から、自治体の取り組みと共に考えるシンポジウム

ゼロから考える！地域の日本語教室

「日本語教室」という名前でもいいの？

町を歩いていると、外国人とすれ違うことが日常になった今。私たちは模索しながら、どのような日本語教室をつくり、どのように運営するのか、という問いに取り組んでいます。地域の日本語教室が在住外国人と社会のつながりをつくる場であるとしたら、「何を目的に、日本語を学びたいと思うか」を考える必要があります。教室の目標と役割は何か。運営体制はどうするのか。共に考えませんか。

日時：2021年3月5日（金）15時～17時

場所：Zoomを利用したオンライン開催

内容：15時00分～15時10分 趣旨説明

15時10分～16時40分 地方自治体による取り組みの報告と意見交換

①福岡県古賀市 / 渋田典子

（まちづくり推進課国際交流・多文化共生係 係長）

②福岡県福岡市 / 中村聡

（総務企画局国際政策課 係長）

③福岡県 / 大井裕

（国際局国際政策課交流推進係 係長）

16時40分～17時00分 多文化の共生を考えるミニワーク

/ 佐々木あや

（株式会社アルク・日本語事業担当）

進行 / 深江新太郎

（福岡県日本語教育環境整備事業アドバイザー・
文化庁委嘱日本語教育施策アドバイザー）

対象：行政関係者、コーディネーターなど

定員：200名

料金：無料

申込：tabunka123@gmail.com【多文化共生プロジェクト】までメールにてお申込み
ください。締め切りは1月29日です。件名を「0305シンポジウム参加」とし、
お名前とご所属をご明記ください。

主催：NPO多文化共生プロジェクト 協力：株式会社アルク